

研究報告書の作成にあたって

昭和49年、「筋ジストロフィー症の病因の究明に関する研究」の研究班が結成され、厚生省心身障害研究費補助金の補助をうけてその研究活動を開始してから、本年度（昭和50年度）は2年目にあたります。不肖、私が主任研究者として研究班のお世話をしておりますが、毎年度研究班班会議がもたれ、その成果をまとめて参りました。本年度も研究報告書を完成し得ましたことは、班員ならびに共同研究者各位の絶大な努力に負うものであります。また、その研究成果がこの方面における一流の国際的水準のものであることは同慶に堪えないところであります。ここに厚生省当局、日本筋ジストロフィー協会の御支援と御理解に対し深く感謝の意を表したいと存じます。

しかし、進行性筋ジストロフィー症は数ある難病の中でも、病因の解明、治療法の開発の最も難しいものの1つであります。この間、患児の尊い生命がうしなわれたことに対して深く哀悼の意を表しますとともに、今後も本格的な基礎的・臨床的研究を絶え間なく続けて行くことが、われわれの責務と考える次第であります。

昭和51年3月

〈主任研究者〉 冲 中 重 雄



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



昭和 49 年、「筋ジストロフィー症の病因の究明に関する研究」の研究班が結成され、厚生省心身障害研究費補助金の補助を受けてその研究活動を開始してから、本年度(昭和 50 年度)は 2 年目にあたります。不肖、私が主任研究者として研究班のお世話をしておりますが、毎年度研究班班会議がもたれ、その成果をまとめて参りました。本年度も研究報告書を完成し得ましたことは、班員ならびに共同研究者各位の絶大な努力に負うものであります。また、その研究成果がこの方面における一流の国際的水準のものであることは同慶に堪えないところであります。ここに厚生省当局、日本筋ジストロフィー協会の御支援と御理解に対し深く感謝の意を表したいと存じます。